

障害者の家族は幸せなのか

私がこのテーマにした理由は授業の中で障害を持った子供を一晩中、お世話をしている家族の様子などをみてとても大変だと思ったからです。また最近の子供が生まれる前に障害を持っているかがわかるのにもかかわらず子供を産む選択をするときどのような気持ちなのかが知りたくなったからです。

実際に障害を持った人は常に何らかの支援を必要としています。だから一番身近な家族がお世話をして疲弊しているということが現在の実態です。このような状態を客観的にみると大変で辛そうだと思いますが、健常児を育てるときもこのような苦労はあり、育てている親はこのように大変だったとしても、その中に幸せを感じているということでした。障害者の家族もはたから見ると苦労しか映らないので不幸に見えますが、実際は可視化できない幸せがたくさんあるということでした。またこのような疑問が出てくるわけは幸せを可視化しないと、周囲に幸せと認知してもらえないということが問題としてあると思います。健常児を育てる場合は、周囲に幸せをアピールしなくてもよいのに、障害を持った子供を育てるときには周囲にアピールしないと不幸と思われてしまうことも問題だと思います。

まとめると障害者の家族は周りから見ると大変そうに見えてしまうが、当人たちの間に見えない幸せがたくさんあるので幸せであるそうです。